



平成26年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年7月24日

上場取引所 東

上場会社名 三菱鉛筆株式会社

コード番号 7976 URL <http://www.mpuni.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 数原 英一郎

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 長谷川 直人 TEL 03-3458-6215

四半期報告書提出予定日 平成26年8月6日 配当支払開始予定日 平成26年9月3日

四半期決算補足説明資料作成の有無： 無

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年12月期第2四半期の連結業績（平成26年1月1日～平成26年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第2四半期	30,427	8.3	5,521	27.9	5,636	7.2	3,681	15.4
25年12月期第2四半期	28,089	6.9	4,315	32.2	5,256	48.0	3,188	48.7

(注) 包括利益 26年12月期第2四半期 3,214百万円 (△43.3%) 25年12月期第2四半期 5,664百万円 (125.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第2四半期	127.02	—
25年12月期第2四半期	109.95	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年12月期第2四半期	84,349	63,637	74.2	2,158.37
25年12月期	81,946	60,863	73.0	2,065.24

(参考) 自己資本 26年12月期第2四半期 62,550百万円 25年12月期 59,852百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期	—	13.00	—	15.00	28.00
26年12月期	—	14.50	—	—	—
26年12月期(予想)	—	—	—	14.50	29.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成26年12月期の連結業績予想（平成26年1月1日～平成26年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	59,000	5.5	8,600	2.3	9,000	△10.2	5,800	△11.8	200.13

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年12月期2Q	32,143,146株	25年12月期	32,143,146株
② 期末自己株式数	26年12月期2Q	3,162,685株	25年12月期	3,162,325株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年12月期2Q	28,980,635株	25年12月期2Q	29,002,427株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

予想数字につきましては、現時点で得られた情報に基づいて算定しておりますが、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。従いまして実際の業績等は、様々な要因の変化などにより、予想とは異なる場合があることをご承知おき下さい。業績予想の前提となる条件等につきましては添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（平成26年1月1日から平成26年6月30日まで）におけるわが国経済は、消費増税に伴う駆け込み需要の反動が幅広い業種で見られたものの、金融緩和をはじめとした政府主導による政策効果を背景に企業の景況感が改善し、個人消費にも引き続き強い動きが見られるなど、景気は緩やかながらも回復基調が続いてまいりました。一方、円安の影響も加わって、燃料や食料品を中心とした物価上昇から個人の景況感は悪化しつつあり、実体経済が回復したとを感じるまでには至っておらず、依然として先行きが不透明な状況で推移しました。

当社グループが属しております筆記具の業界におきましては、消費増税前の前倒し需要による反動減は想定内に留まったものの、お客様の品質に対する選別の目が厳しさを増すなかで、これまで以上に価格競争の様相を呈しており、今後は更なる厳しい状況が続くものと思われまます。

このような経営環境の中、当社グループは「最高の品質こそ最大のサービス」という社是の原点に立ち返り、高付加価値で高品質な商品開発を行ってまいりました。油性ボールペン『ジェットストリーム』には、なめらかな書き味はそのままに、操作性と高級感を両立させて好評を博しております『ジェットストリームプライム』に加えて、特殊繊維の「Agファイバーチップ」を搭載し「なめらかな操作感」を実現したタッチペン付きの『ジェットストリームスタイラス』を発売し、タブレット端末などのデジタルツール使用時における「書く／描く」喜びを新たにご提案いたしました。また、シャープペンシルの『クルトガ』や多色・多機能ペンの『スタイルフィット』など当社主力商品を中心に更なる品質改良やバリエーションの充実を図り、新たな顧客層を開拓しながら市場シェアを拡大して収益を重ねることが出来ました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は304億27百万円（前年同期比8.3%増）となりました。また営業利益は55億21百万円（前年同期比27.9%増）、経常利益は56億36百万円（前年同期比7.2%増）、四半期純利益は36億81百万円（前年同期比15.4%増）となりました。

セグメント別の状況は次のとおりです。

筆記具及び筆記具周辺商品事業は、ジェットストリームシリーズをはじめとする主力商品の販売が堅調に推移したことに加えて、為替も期間を通して安定しており、この結果、外部顧客に対する売上高は290億96百万円（前年同期比8.8%増）となりました。一方、その他の事業は手工芸品事業は堅調に推移しましたが、粘着テープ事業は市況が厳しく、この結果外部顧客に対する売上高は13億30百万円（前年同期比0.5%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産に関する分析

当第2四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末に比べて24億2百万円増加し843億49百万円となりました。これは主として現金及び預金が28億3百万円、受取手形及び売掛金が5億59百万円増加した一方、たな卸資産が6億23百万円減少し、流動資産が25億60百万円増加したことによります。

負債は、前連結会計年度末に比べて3億71百万円減少し207億12百万円となりました。これは主として支払手形及び買掛金が2億7百万円、未払法人税等が1億79百万円減少したことによります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて27億74百万円増加し636億37百万円となりました。これは、主として利益剰余金が32億48百万円増加し、一方為替換算調整勘定が4億5百万円減少したことによります。

キャッシュ・フローに関する分析

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」）というは、前連結会計年度末に比べて25億69百万円増加し290億52百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、主に税金等調整前四半期純利益56億20百万円、減価償却費6億50百万円、一方使用した資金は主に法人税等の支払額19億90百万円であり、この結果41億45百万円と前年同期に比べて7億42百万円の収入の増加となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動に使用した資金は、主に固定資産の取得による支出6億5百万円、定期預金の預入による支出2億85百万円、一方、得られた資金は定期預金の払戻による収入99百万円であり、この結果9億6百万円と前年同期に比べて2億28百万円の支出の増加となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動に使用した資金は、主に配当金の支払額4億19百万円であり、この結果4億55百万円と前年同期に比べて54百万円の支出の増加となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、平成26年2月14日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（税金費用の計算）

当社及び一部連結子会社の税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

（4）追加情報

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	27,843	30,646
受取手形及び売掛金	15,153	15,713
たな卸資産	12,931	12,307
その他	2,305	2,136
貸倒引当金	△138	△148
流動資産合計	58,095	60,656
固定資産		
有形固定資産	11,622	11,595
無形固定資産	148	144
投資その他の資産		
投資有価証券	10,346	10,163
その他	1,733	1,790
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	12,080	11,954
固定資産合計	23,851	23,693
資産合計	81,946	84,349

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,812	7,604
短期借入金	1,171	1,150
未払法人税等	2,059	1,879
賞与引当金	439	424
返品引当金	75	50
その他	4,557	4,696
流動負債合計	16,114	15,806
固定負債		
長期借入金	2	0
退職給付引当金	2,400	2,466
役員退職慰労引当金	821	803
環境対策引当金	28	28
負ののれん	16	-
その他	1,699	1,606
固定負債合計	4,969	4,905
負債合計	21,083	20,712
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,497	4,497
資本剰余金	3,583	3,583
利益剰余金	50,241	53,489
自己株式	△3,329	△3,330
株主資本合計	54,993	58,240
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,756	3,575
繰延ヘッジ損益	△32	4
為替換算調整勘定	1,135	729
その他の包括利益累計額合計	4,859	4,309
少数株主持分	1,011	1,086
純資産合計	60,863	63,637
負債純資産合計	81,946	84,349

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)
売上高	28,089	30,427
売上原価	14,549	15,093
売上総利益	13,540	15,333
販売費及び一般管理費	9,224	9,812
営業利益	4,315	5,521
営業外収益		
受取利息	11	10
受取配当金	103	112
受取地代家賃	69	45
負ののれん償却額	32	16
為替差益	678	-
その他	116	52
営業外収益合計	1,011	236
営業外費用		
支払利息	7	6
持分法による投資損失	3	4
為替差損	-	50
シンジケートローン手数料	27	34
売上割引	16	15
その他	15	9
営業外費用合計	70	120
経常利益	5,256	5,636
特別利益		
固定資産売却益	5	0
投資有価証券売却益	-	19
特別利益合計	5	19
特別損失		
固定資産除売却損	9	34
投資有価証券評価損	168	-
出資金評価損	-	1
代理店契約解約損	18	-
特別損失合計	195	36
税金等調整前四半期純利益	5,066	5,620
法人税等	1,788	1,847
少数株主損益調整前四半期純利益	3,277	3,773
少数株主利益	88	91
四半期純利益	3,188	3,681

（四半期連結包括利益計算書）
（第2四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 平成25年1月1日 至 平成25年6月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 平成26年1月1日 至 平成26年6月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	3,277	3,773
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,379	△181
繰延ヘッジ損益	39	37
為替換算調整勘定	963	△414
持分法適用会社に対する持分相当額	4	0
その他の包括利益合計	2,386	△558
四半期包括利益	5,664	3,214
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,534	3,131
少数株主に係る四半期包括利益	129	82

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	5,066	5,620
減価償却費	658	650
貸倒引当金の増減額（△は減少）	17	11
退職給付引当金の増減額（△は減少）	△72	65
前払年金費用の増減額（△は増加）	16	0
受取利息及び受取配当金	△114	△122
支払利息	7	6
為替差損益（△は益）	△584	26
持分法による投資損益（△は益）	3	4
投資有価証券売却損益（△は益）	—	△19
投資有価証券評価損益（△は益）	168	—
代理店契約解約損	18	—
売上債権の増減額（△は増加）	△1,033	△678
たな卸資産の増減額（△は増加）	625	470
仕入債務の増減額（△は減少）	79	△197
未収消費税等の増減額（△は増加）	149	99
その他	△119	81
小計	4,885	6,020
利息及び配当金の受取額	114	122
利息の支払額	△7	△6
法人税等の支払額	△1,571	△1,990
代理店契約解約金の支払額	△18	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,403	4,145
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	△538	△605
固定資産の売却による収入	32	56
投資有価証券の取得による支出	△89	△100
投資有価証券の売却による収入	0	28
貸付けによる支出	△8	△14
貸付金の回収による収入	7	5
定期預金の預入による支出	△332	△285
定期預金の払戻による収入	258	99
その他	△6	△89
投資活動によるキャッシュ・フロー	△677	△906
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	29	△21
自己株式の取得による支出	△1	△0
配当金の支払額	△389	△419
少数株主への配当金の支払額	△32	△6
その他	△7	△6
財務活動によるキャッシュ・フロー	△401	△455
現金及び現金同等物に係る換算差額	520	△214
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	2,845	2,569
現金及び現金同等物の期首残高	20,881	26,483
現金及び現金同等物の四半期末残高	23,726	29,052

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年1月1日至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	筆記具及び筆記具 周辺商品事業	その他の事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
売上高					
外部顧客への売上高	26,752	1,337	28,089	—	28,089
セグメント間の内部売上高又は振替高	13	9	23	△23	—
計	26,765	1,346	28,112	△23	28,089
セグメント利益	4,253	49	4,302	12	4,315

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成26年1月1日至平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	筆記具及び筆記具 周辺商品事業	その他の事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
売上高					
外部顧客への売上高	29,096	1,330	30,427	—	30,427
セグメント間の内部売上高又は振替高	12	8	21	△21	—
計	29,109	1,339	30,448	△21	30,427
セグメント利益	5,500	4	5,504	16	5,521

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。